

大会日程 第 1 日 11 月 16 日 (土) 12 : 30 - 19 : 20

■受付開始 12 : 00 - 京都市立芸術大学講堂入口

■公開講演会、田邊尚雄賞授賞式 京都市立芸術大学講堂

12 : 30	開会の辞 会長 植村幸生 日本伝統音楽研究センター所長 渡辺信一郎
12 : 40 16 : 00	公開講演会 語りの立体化そして復曲—狂言、能、題目立
休憩 10 分	
16 : 10 16 : 30	第 36 回田邊尚雄賞授賞式 受賞者 田中 有紀 受賞対象『中国の音楽思想：朱載堦と十二平均律』 (東京大学出版会、2018 年 9 月発行)

■定時社員総会 京都市立芸術大学講堂

16 : 30 17 : 10	第 8 回定時社員総会
-------------------------	-------------

■田邊尚雄賞受賞祝賀会、懇親会 大学会館交流室

17 : 20 19 : 20	田邊尚雄賞受賞祝賀会、懇親会
-------------------------	----------------

【大会会場案内】

〒610-1197 京都市西京区大枝杵掛町 13-6 京都市立芸術大学

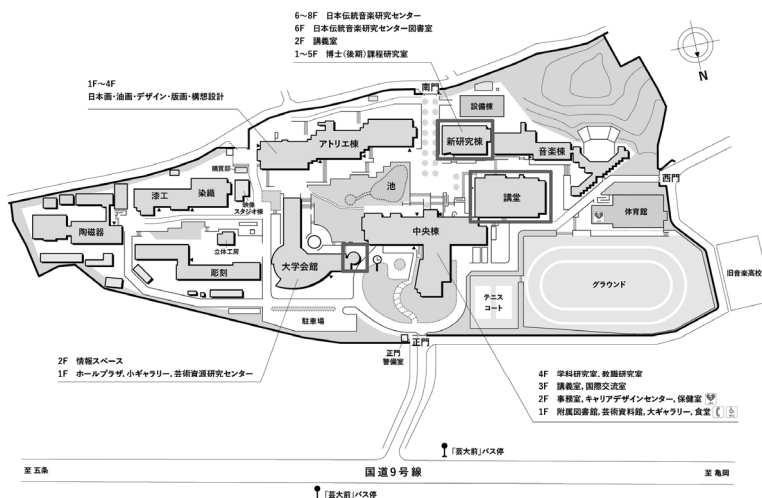
新研究棟 2 階及び 7 階 (発表)、講堂 (公開講演会)、大学会館交流室 (懇親会場)

JR 京都駅から

C2 のりばで京阪京都交通バス 2・14・28 系統に乗車, 芸大前 (約 45 分) で下車。

阪急桂駅から

桂駅東口: 京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28 系統に乗車, 芸大前 (約 20 分) で下車。



JR 桂川駅・阪急洛西口駅から

京阪京都交通バス 11A 系統 (京都成章高校前行き) に乗車, 芸大前 (約 15 分) で下車。

大会日程 第2日 11月17日(日) 9:15-16:20

■受付開始 8:45- 京都市立芸術大学 新研究棟7階

■研究発表 A会場(7階合同研究室1)、B会場(7階合同研究室2)、C会場(2階大会議室)

研究発表1	1-A (7階合同研1) 司会：今田健太郎	1-B (7階合同研2) 司会：高橋葉子	1-C (2階大会議室)
9:15	西澤忠志 日本における音楽批評の出版メディアでの位置づけ —明治時代の新聞雑誌における音楽批評の展開から—	坂東愛子 梅若六郎家における「甲グリ」の技巧 —現行観世流の用法を通して—	[パネルディスカッション] 民博所蔵東洋音楽学会調査記録資料の意義と今後の活用 福岡正太(代表) 菌田 郁、植村幸生
9:45	笠井津加佐、笠井純一 第五回国内勲業博覧会における「新曲浪花踊」の公演について —明治中後期における大阪社会と花街との関係—	三浦裕子 明治期の能楽囃子太鼓方観世流 —14世宗家観世元規と弟子の活動をめぐって—	
10:15	安原道子 昭和初期の長崎のラジオ放送番組に見る芸妓の音楽活動 —凸助と愛八を中心に—	上野正章 明治期末の観世流謡曲界における直シ入り謡本の席捲について —丸岡桂の仕事を中心に—	

10:45-10:55 休憩

研究発表2	2-A (7階合同研1) 司会：加納マリ	2-B (7階合同研2) 司会：田中多佳子	2-C (2階大会議室)
10:55	青木 慧 江戸期吉原遊廓における音楽とその機能 —洒落本の記述をめぐって—	井上春緒 タブラーとジョーリーのレパートリーについての比較考察	[共同発表] 琉球箏曲歌物の形成と関連歌の広がり 金城 厚(代表)
11:25	村山佳寿子 大正期大阪における箏曲点字楽譜解説書の成立	田森雅一 時代を先駆けた二人のインド女性芸能者の近代	井口はる菜、 比嘉悦子、遠藤美奈
11:55	越懸澤麻衣 大正時代に来日した外国人演奏家 —エルマンをめぐる動向を中心に—	小日向英俊 在沖縄インド人コミュニティーの宗教歌謡 —その形態と旋律—	

12:25-13:30 昼食休憩

※書籍販売、休憩スペースは当日の案内をご確認ください。

研究発表 3	3-A (7階合同研1) 司会：井口淳子	3-B (7階合同研2) 司会：久万田 晋	3-C (2階大会議室)
13:30	金志善 植民地朝鮮における「俗謡」をめぐると日本人の音楽学的認識 —1910年～1920年代の日本語文献を手掛かりに—	古澤瑞希 佐賀県内における鉦を用いる浮立の分布に関する一考察 —鉦の音楽構造を通して—	[セッション] 民衆的楽器のあり方 —ユーラシアの有棹撥弦楽器を比較する 柚木かおり (代表) 東田範子、米山知子
14:00	丸山 彩、酒井健太郎 戦時下の唱歌普及の取り組みとその成果 —唱歌《日本のあしおと》を題材に—	川崎瑞穂 民俗芸能の音楽におけるモチーフの分布調査とその結果 —東日本篇—	
14:30	マット・ギラン 北米における「Buddhist Temple Music」としての尺八イメージ —玉田如萍の活動を中心に—	仲辻真帆 近現代日本における「作曲」／「作品」概念の再考 —柴田南雄《修二會讃》より—	

15:00-15:10 休憩

研究発表 4	4-A (7階合同研1) 司会：遠藤 徹	4-B (7階合同研2) 司会：南谷美保	4-C (2階大会議室) 司会：植村幸生
15:10	李小艾 『三五要録』と『仁智要録』における唐楽曲の形式について	吉岡倫裕 真言声明南山進流に於ける「思想上の理論」と「実唱上の理論」の併存 —時代ごとの呂律観を見る—	直川礼緒 日本で発掘された平安期の鉄製口琴
15:40	根本千聡 宮内庁書陵部蔵『歌楽維譜』	山田淳平 徳川吉宗の琴楽再興 —実践と思想の結節点—	神野知恵 伊勢大神楽の回檀における笛の機能

16:10 閉会の辞 大会実行委員長 藤田隆則 7階合同研究室1